

## ■ 「量の見込み」の算出について

平成 26 年 4 月 2 日国の事務連絡（参考資料 2 - 3 参照）

国の示した「作業の手引き」では、「就労希望を踏まえた潜在家庭類型」を基にした「量の見込み」の算出方法が示されており、平成 27 年度に就労希望が全て実現することを前提とした算出方法となっています。

ただし、「作業の手引き」は標準的な算出方法を示しているものであり、地方版子ども・子育て会議等の議論を経て、異なる方法とすることも可能とされています。

### ○子ども・子育て会議において議論いただきたい事項

- ・ニーズ調査から算出された「量の見込み」が現状の利用状況と比較して著しく乖離しているもの
- ・ニーズ調査からでは、区域の人口規模、事業形態等により「量の見込み」を算出するのが困難なもの

#### 1 ニーズ調査から算出された「量の見込み」が現状の利用状況と比較して著しく乖離しているもの

##### (1) 病児・病後児保育事業

ア 「作業の手引き」により算出した「量の見込み」

(人日/年)

H27	H28	H29	H30	H31
6,300	6,312	6,161	6,008	5,845

イ 施設の状況

実施施設	開設日及び時間	開設日数	定員	年間受入可能人数
キッズケアルーム風船	月～金 8:00～18:00 土 8:00～12:30	294	4名	1,176
グレイス病児保育室	月～金 7:30～17:30	244	4名	976

※グレイス病児保育室…H26.4.1 から土曜日（7:30～17:30）も開設

ウ 利用状況

実施施設		H23	H24	H25
キッズ	延べ利用人数	523	501	569
	実利用人数	141	149	170
グレイス	延べ利用人数	346	440	422
	実利用人数	98	109	113
計	延べ利用日数	869	941	991
	利用実人数	239	258	283
1人当たりの利用日数		3.6	3.6	3.5

- エ 量の見込み算出にあたって他自治体の事例
- 調査結果から得られるニーズ量は使用せず、近年の伸びで見込量を算出
  - 自治体で把握している平均利用日数（1.55日）で調整  
 仙台市 実施施設4ヶ所 量の見込み 2,000～3,000人（年間延人数）
  - 調査票において「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した者については、見込量の算出から除外
  - 病児病後児保育の利用希望日数について、希望上限を50日／年として集計

### 滝沢市における補正（案）

**案1** 上記、エのb. cにより、滝沢市の平均利用日数（3.5日）で補正  
 （人日／年）

H27	H28	H29	H30	H31
2,165	2,168	2,117	2,064	2,008

**案2** 上記、エのc. dにより補正（資料1－2はこちらを掲載）

H27	H28	H29	H30	H31
4,647	4,654	4,545	4,434	4,312

## 2 ニーズ調査からでは、区域の人口規模、事業形態等により「量の見込み」を算出するのが困難なもの

(1) 「姥屋敷地区」「柳沢地区」の量の見込みについて

- 家庭類型の分類軸を満たす回答サンプルが無い場合、量の見込みを算出するのが困難なもの

ア 「作業の手引き」により算出した「量の見込み」

地 区	2号認定	3号認定	計
姥屋敷	4	4	8
柳沢	8	0	8

イ 利用状況

地 区	2号認定	3号認定	計	保育所定員
姥屋敷	8	7	15	30
柳沢	25	11	36	45

### 補正（案）

両地域とも今後急激な人口増加が見込まれる地域では無いことから、実績値を最大の量の見込みと推計し、提供体制を確保

(2) 子育て短期支援事業

- ・国が示した「作業の手引き」の算出方法では、量の見込みの推計値が「0人」となる。

ア 施設の状況

施設名	所在地
児童養護施設 和光学園	盛岡市
児童養護施設 青雲荘	盛岡市
児童養護施設 みちのくみどり学園	盛岡市
日赤岩手乳児院	盛岡市
善友乳児院	盛岡市

イ 利用状況（委託事業により実施）

実施施設		H23	H24	H25
和光学園	延べ利用人数	2		5
	実利用人数	1		2
青雲荘	延べ利用人数			2
	実利用人数			1
日赤岩手乳児院	延べ利用人数	20		7
	実利用人数	2		1
善友乳児院	延べ利用人数		9	6
	実利用人数		1	1
計	延べ利用日数	22	9	20
	利用実人数	3	1	5

**補正（案）**

年度により増減があるが、一定の需要はあるため、実績値を量の見込値とし、引き続き現状の施設への委託事業により提供体制を確保

(3) 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）

- ・国が示した「作業の手引き」の算出方法では、十分ニーズを把握していると判断できない。

ア 「作業の手引き」により算出した「量の見込み」

(活動件数/年)

H27	H28	H29	H30	H31
22	22	21	20	20

イ 事業の状況

事業名	運営委託先
滝沢市ファミリー・サポート・センター	社会福祉法人 滝沢市社会福祉協議会

## ウ 利用状況

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
依頼会員	334	385	421	460	502	547	596	649	706
提供会員	93	91	97	103	109	115	121	127	133
兼ねる会員	21	23	29	36	44	53	63	74	86
活動件数	713	1,007	1,057	1,109	1,163	1,219	1,277	1,337	1,399

### 補正（案）

現状の利用状況を踏まえ、見込値を推計し、現在の事業により提供体制を確保例）H24 からH25 の上昇率を基に推計。

### 3 その他（参考資料2－4参照）

国で各自治体の「量の見込み」を調査した結果、0歳児の「量の見込み」が、1・2歳児とあまり変わらない水準となることを見込まれます。

0歳児の「量の見込み」の算出に当たっての育児休業の勘案については、国において育児休業の取得状況の実態等を踏まえ、よりニーズの実態に近い「量の見込み」を算出する方法を検討し、今後市町村に示す予定となっています。



再算出の可能性あり